

会 議 録

- 1 会議の名称 川根本町総合計画検証委員会（第1回）
- 2 会議日時 令和8年1月27日（火） 午後3時00分 から
午後4時40分 まで
- 3 開催場所 川根本町役場本庁舎 3階会議室
- 4 出席した者の氏名
 - （1）委 員 小泉祐一郎 委員長、西澤努委員（代理出席）、西澤孝仁委員
下嶋恵委員、中道輝久委員、福田郁之委員、駒井宗子委員、藤中康彦委員、高田文好委員、山田典秀委員、堀美千恵委員
 - （2）執行機関 （事務局）経営戦略課
課長 坂下誠、まちづくり推進室 室長 櫻井久美
主幹 林 三貴
 - （3）傍 聴 人 なし
- 5 議題
 - （1）総合計画・総合計画検証委員会について
 - （2）第2次総合計画の検証について
 - （3）第3次総合計画について
 - （4）その他
- 6 会議資料の名称
 - ① 令和7年度第1回川根本町総合計画検証委員会次第
 - ② 川根本町総合計画検証委員会委員名簿
 - ③ 総合計画とは？
 - ④ 総合計画KPI（目標指標）状況一覧表
 - ⑤ 第3次総合計画の策定について

7 発言の内容

	(1. 開会)
	(2. あいさつ) 坂下経営戦略課長

	<p>(3. 委員長あいさつ) 小泉委員長</p> <p>(4. 議事) (1) 総合計画・総合計画検証委員会について 事務局説明</p> <p>(2) 総合計画・総合戦略の検証について 事務局説明</p>
委員長	第3次総合計画の第3次の策定に向けて、いろいろ検討していきたい。説明内容の確認、ご意見、質問があれば発言いただきたい。
委員	町民意向調査ということで、町民へアンケートが来るが、どのような基準で送付先を選定しているのか。
事務局	無作為に抽出している。
委員	行政は、層化無作為抽出法でアンケートを実施することが多い。アンケートの妥当性の観点から、統計的な手法を用いて実施する必要がある。
委員長	これから町で総合計画を作成するにあたり、こういう視点をぜひ入れてもらいたい等ご意見をいただきたい。
委員	観光の面で静岡県は素晴らしいところ。川根本町は観光の面でもっと人が呼べるのではないかと思う。大井川鐵道の蒸気機関車や寸又峡等、宝がたくさんある。ホームページのアクセス件数もあるのでこれを活用してもっとPRできれば。
委員	将来像である「水と森の番人が創る癒しの里 川根本町」は次期計画では変更するのか。
事務局	変更は可能。
委員	<p>10年後の人口動態を見据える必要がある。KPIを設定しているが、理にかなったKPIになっているかもう一度検討してもらいたい。</p> <p>島根県の海士町の視点は『ないものはない』。人口減少を受け入れた上で、定住だけでなく若者の還流をKPIに設定している。千葉県の新崎町は『創造的過疎』。現実を受け入れた上で、本当に現実に合った10年計画を立てて</p>

いかないといけない。

委員

この先5年、10年先に川根本町の人口がどうなるか、町民として受け止めて、人口が減る中で、どうやって魅力ある街にするか考えることが計画の第一歩じゃないかと思う。

委員

5年、10年前から5年後には茶工場がなくなるという話が出ていた。現在本当に無くなっている。5年先にはさらに減っていくことが目に見えており、その対策をどうするか。

鳥獣被害も対策が必要。今まではイノシシ等が畑を荒らしていたが、最近ではシカやカモシカが茶の葉っぱを食べている。これまでは、植えたばかりの苗を柵で囲っていたが、今後は茶園すべて囲わないといけないといった危機感を持っている。

委員

私の茶畑では葉っぱを食べられてしまい、枝だけになってしまった。食べられてしまうと新芽が出てこない。動物が来ないように柵で囲っているが効果はない。

委員

子育て支援施設について、支援対象となる子どもが減っている。1歳前に保育園へ入園してしまう。兄弟がいると一緒に入園する。移住者もいるが、子どもが大きいケースが多い。

人口減少については、ここで生まれた子どもたちも高校進学や、やりたいことがあるとどうしても町の方へ出ていってしまう。そうするとそのまま大学進学や就職してしまうので、減少傾向にある。難しい課題だと思っている。

委員

金融機関という立場から、人口減少対策として、転入者に有利な住宅ローンや教育ローンの設定、気軽に相談できる体制を構築している。役場や商工会と連携して課題解決していきたい。

委員

本業が大工で、大工をやりながらキャンプ場も一つ経営している。東京や京都、大阪等色々なところからキャンプ場に来ていただいている。ロケーションもよく来年もぜひ来たいという感想をいただいている。川根本町の特産品はお茶なので、来場者にお土産として買って行ってもらいたい。関係者とうまく連携していきたいと思っている。

登山が好きで、色々な人に来てもらえるよう登山道の整備を行っている。登山もブームが来ているのでインフルエンサーが発信してくれれば若い人が来ると思う。

自分がやりたいことや目的があれば、人は来ると思っている。楽しみながら活動して、1人でもいいので人を増やして、楽しいまちづくりができれば

委員	<p>いいなと思っている。</p> <p>温泉や吊り橋といった資源があつて、人が押し寄せたとしても、それを受け入れられる施設がない。観光客が来ている印象はあるが、バスや電車の接続で不便を掛けている。今は車の運転ができる町民も高齢で車に乗れなくなるかもしれない。公共交通について、町民も観光客も困らないようにもっと工夫ができたらと感じている。</p>
委員	<p>後継者不足が問題。親子間の会話ができいないとなかなかうまくいかない。町独自の支援があると魅力が出てくる。</p> <p>町民が町に関心がないと町の魅力は減ってくると思う。町民が過ごしやすさや魅力を感じれば人は来る。高齢者が多いということは高齢者に特化した施策が多いのではないか。若い方をターゲットにした施策を実施すれば若い方が集まると思う。</p>
委員	<p>義務教育学校に移行し、三ツ星学園は4校の学校が合併した。これまで1クラス4～5人だったので喜んでいる子もいれば、戸惑っている子もいる。その影響がアンケート結果に出ているのではないか。</p> <p>ICTについては学用品であり、教員が指示しなくても子ども達は使用している。教員が一生懸命使い方を覚えて授業で活用しているが、ICTの進化のスピードが速く追いつくのが難しい。</p> <p>川根本町には野鳥がたくさんいるので何かに活用できればと感じている。</p>
委員長	<p>総合計画は、特色があるようでない計画。網羅的に様々なことを含めなければならぬ。一方、戦略は網羅的ではなく、絞り込む必要がある。計画は長期的な、戦略は短期的な物。町として特色を出すのが戦略。委員の皆さんからいただいた意見は戦略的な話が多かった。網羅的な計画と戦略をどのように組み合わせていくかがポイントとなる。</p>
事務局	<p>(3) 第3次総合計画について 事務局説明</p>
事務局	<p>以上をもって、議事は終了とする。</p> <p>(5. 閉会)</p>

上記に相違ないことを確認する。

委員長 小泉 祐一郎